

京王電鉄における輪軸組立作業の点検について

京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、取締役社長：都村 智史、以下「京王電鉄」）は、関東運輸局からの指示を受け、輪軸組立作業について点検した結果をお知らせいたします。

詳細は下記のとおりです。

記

1. 点検内容

京王線及び井の頭線の車輪に車軸を圧入する作業の記録を確認しました。

2. 対象輪軸

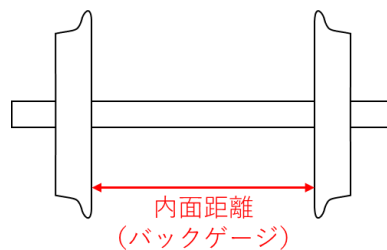
京王線・井の頭線3, 676本

3. 点検結果

車輪に車軸を圧入する作業を委託している、京王重機整備株式会社（以下「京王重機整備」）から提出された成績表と、圧入作業を行うプレス機より出力したデータ（以下、出力データ）を照合した結果、数値に相違があることが判明し、目安値を逸脱している輪軸があることを確認しました。また、出力データが確認できない輪軸がありました。

- ・圧入力値が目安値を超過していた本数：9本
- ・圧入力値が目安値を下回っていた本数：928本
- ・出力データが確認できない本数：554本

※なお、これらを含め、京王重機整備の圧入作業後、当社では全ての輪軸について超音波探傷検査を実施し、傷がないこと、異常がないこと、また、3ヶ月ごとの定期検査において、車輪の内面距離（バックゲージ）を測定し異常がないことをそれぞれ確認しており、安全は確保されています。



車輪の内面距離(バックゲージ)

4. 原因

京王重機整備における車輪に車軸を圧入する作業において、出力データと異なる数値が成績表に記入されていたため。

5. 緊急対策

現在運行中の車両のうち、圧入力値が目安値を逸脱した輪軸および出力データが確認できない輪軸について、内面距離（バックゲージ）の再測定を行い、異常がないことを改めて確認しております。

6. 今後の対応

- (1) 目安値を逸脱した輪軸および出力データが確認できない輪軸は、念のため順次交換を実施します。
- (2) 目安値を逸脱している輪軸について、車輪と車軸の間に印を施し、異常がないことを10日毎に行う検査（列車検査）にて確認します。
- (3) 京王重機整備の作業・検査体制の見直し、管理体制の抜本的改善を含めた再発防止策については引き続き検討し、改めてお知らせいたします。

7. 京王重機整備における輪軸組立作業による数値の差し替えについて

輪軸組立作業について点検をする過程で、京王重機整備による車輪に車軸を圧入する作業において、圧入力値の数値の差し替えを行っていたことが判明いたしました。鉄道車両の整備を委託していただいているお客様をはじめとする関係の皆様にご迷惑・ご心配をおかけしておりますことを、深くお詫びいたします。

以 上